

代表者名	加沢 潔	所管部課名	産業経済労働部観光課
所在地	横手市赤坂字富ヶ沢62-46	設立年月日	平成5年5月18日

【沿革及び県の出資理由】

本県の文化遺産の継承、新たな郷土文化創造拠点として、また新たな観光拠点として、この二つの機能を十分に生かし相乗効果による県民文化の向上と地域産業の振興を図ることを目的に県等の出資により設立。

【出資者】(19年度当初)

(千円、%)

区分	団体数	出資額	構成比
秋田県	1	250,000	50.5
市町村	4	69,000	13.9
その他	27	176,000	35.6
計	32	495,000	100.0

【事業】

①主たる業務

秋田ふるさと村の管理運営

②事業実績

(人)

事業名等	16年度	17年度	18年度
入村者数	729,269	752,659	706,318
入-初付城	92,522	98,522	104,776
かまくらシアター	36,430	34,132	35,621

③18年度事業概要及び19年度事業計画・目標

<平成18年度事業概要>

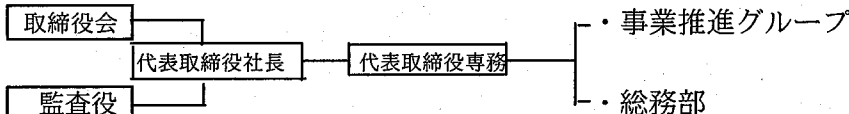
- ①公共性を尊重しながらサービス向上と管理経費縮減を図る事業運営 ②地域・関係機関との連携強化と商品づくり  
③利便性の向上とそれに伴う売上向上 ④県外集客強化と効果的な広告戦略の展開 ⑤国体PR支援

<平成19年度事業計画>

- ①既存施設以外の利用促進 ②エリア拡大と多彩な広告展開 ③地域・関係機関との連携強化と商品づくり  
④地域・関係機関との連携強化と商品づくり ⑤質の高い商品提供とサービス向上

【組織】

①運営機構



②役員数 (H19.6.25現在)

(人)

	取締役	監査役
常勤	2	
内、県退職者	2	
内、県職員		
非常勤	7	1
内、県退職者		
内、県職員	1	
計	9	1
内、県関係者	3	0

③職員数 (H19.4.1現在)

(人)

正職員	16	正職員	正職員
内、県退職者		平均年齢	平均勤続年数
出向職員		37.1歳	11.2年
内、県職員			
臨時・嘱託	12	正職員平均年収	
内、県退職者		3,444千円	
計	28		
内、県関係者	0		

役員報酬支給対象者数	3人
役員報酬支給対象者平均年齢	66.7歳
平均役員報酬額	3,533千円/年

【財務】

①損益状況 (18年度)

(千円)

	金額
経常収入 A	581,587
受託事業収入	277,876
補助金収入	0
自主事業収入	297,721
運用益収入	0
その他	5,990
経常支出 B	548,752
人件費	98,353
その他	450,399
経常損益 C=A-B	32,835
経常外収入	0
経常外支出・諸税	19,246
当期損益	13,589

②財務状況 (18年度末)

(千円、%)

	金額	構成比
流動資産	290,822	56.1
固定資産	227,272	43.9
資産計	518,094	100.0
流動負債	88,827	17.1
短期借入金	0	0.0
固定負債	0	0.0
長期借入金	0	0.0
引当金等	11,449	2.2
負債計	100,276	19.3
資本金	495,000	95.5
剰余金	-76,790	-14.8
資本計	418,210	80.7
負債・資本計	518,486	100.0

	(千円)
県の損失補償額	
県の債務保証額	

	(千円、%)		
退職給与引当状況	要支給額	引当額	引当率
	11,449	11,449	100.0%

【県の財政支出】

(千円)

	16年度	17年度	18年度	支出目的・対象事業概要等
補助金				
委託費	374,300	308,085	276,590	秋田ふるさと村維持管理等業務委託、ふるさと魅力発信事業
貸付残高				

1 主な経営指標

項目		単位	16年度	17年度	18年度	16-17増減	17-18増減
健全性	自己資本比率	%	76.89	77.33	80.66	0.44	3.33
	借入金依存率	%	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
	流動比率	%	438.55	450.34	327.40	11.79	▲ 122.93
収益性	剰余金(▲欠損金)	千円	▲ 100,172	▲ 90,379	▲ 76,790	9,793	13,589
	経常利益率	%	2.26	3.83	5.65	1.57	1.82
	総資本利益率	%	2.90	4.70	6.33	1.80	1.64
発展性	経常収入額	千円	658,688	641,846	581,587	▲ 16,842	▲ 60,259
効率性	総資本回転率		1.28	1.23	1.12	▲ 0.06	▲ 0.10
	職員1人当たり経常収入	千円	19,960	22,133	20,771	2,172	▲ 1,362
	人件費比率	%	14.89	16.16	16.91	1.27	0.76

2 経営目標の達成状況

経営目標			16年度	17年度	18年度	19年度
経営改善指標	当期利益(千円)	目標	19,800	19,800	8,792	10,626
		実績	12,047	9,792	13,589	
売上高人件費率(%)		目標	15.7	15.7	16.3	16.3
		実績	15.1	16.3	17.1	
事業成果指標	自主事業収入(千円)	目標	264,200	264,200	292,643	300,010
		実績	285,509	325,882	297,721	
入村者数(人)		目標	730,000	730,000	760,000	790,000
		実績	729,269	752,659	706,318	
顧客満足度指数		目標	-	-	-	-
		実績	-	70	-	-

3 経営状況及び課題、経営目標の達成状況についての自己評価

入場者数について5期連続で70万人台の来場者を迎えたことに加え、経常利益においては過去最高の32,835千円、継続的に単年度黒字を計上しており、数値的には「好成績」であったといえる。ただし、その内訳は経費の節減等によるところが大きい。  
 今後は、施設の複数利用の促進と既存施設以外での多様な来場機会を増やすことで入場者の安定的確保とリピート率の向上を図り、経営の根幹である「入館料収入」と「テナント料収入」のさらなる向上に努めたい。

4 総合評価(計算書類等の資料及びヒアリングによる評価)

I 概ね安定した経営内容	II 一層の努力を要する経営内容
・指定管理者制度による受託事業収入が減少しているが、業務委託費、管理費を節減し、前年度以上の当期利益を計上できたことは高く評価できる。 ・しかし、入村者数が前年度及び計画を下回り、19年度も減少傾向がみられる。営業収入の確保は入場者の増加が前提であり、その対策が重要である。 ・売上総利益は、物販の共同経営店舗のテナントへの移行等で減少傾向にある。削減できた経費は今後も持続できるよう、欠損金解消に向けての努力が望まれる。	